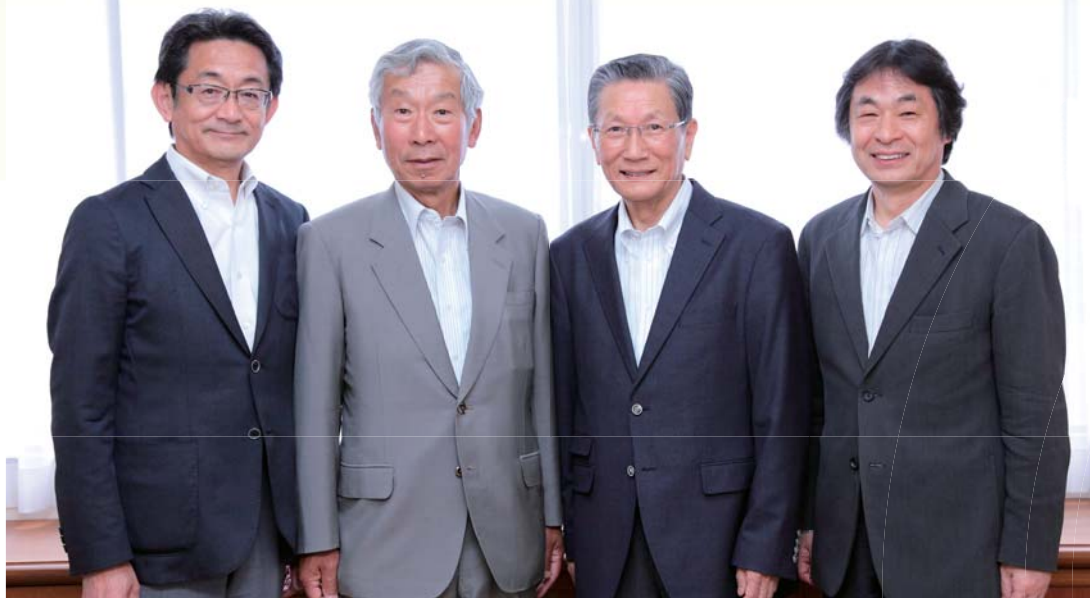


持続可能な成長と 発展をめざす静岡建設産業

わが国の建設産業は、東日本大震災の復興、2020年の東京オリンピックの開催が決まってから、人材不足になり、働き方改革による雇用の確保が課題になっています。もうひとつの課題は、技術・技能の継承。さらに、企業を存続させるには生産性向上を実現し、利益を生まなければなりません。

そこで、今回の座談会では、建築設計業、建設工事業、電気工事業、解体工事業の各業界の現状分析をふまえて、「持続可能な成長と発展」をめざしての今後の課題と解決策について話しあいました。(文責・企画広報室)



出席者
(写真順)

第一建設株式会社
代表取締役社長
市川 照さん

大王電機株式会社
代表取締役社長
磯谷 巖さん

三和建商株式会社
取締役常務執行役員
濱崎 忠雄さん

企業組合 針谷建築事務所
代表理事・所長
鳥居 久保さん

**高校・大学で実業を学んだ
資格取得者を採用したい**

市川 私が40数年前に入社した頃は

定年が55歳。ひとりだけ60歳代の人
がいました。同期の新入社員が6人
で、完全にピラミッド型の年齢構成で
した。ところが、現在は完全に逆三角
形の年齢構成になっています。当社で
は来年度から定年を60歳から65歳へ
と引き上げて、65歳以上を再雇用と
します。戦後の1947年に生まれた
子どもの数は260万人でしたが、2
017年に生まれた子どもは100万
人を切っています。我々が雇いたいと考
えている20歳前後の方々がどんどん少
なくなっています。針谷建築事務所さ
んでは、普通高校や大学の卒業生を
雇っていますか？

鳥居 主に大学の建築学科の卒業生

を採用しています。建築は技術や理
系のイメージがあるかもしれませんが、
が、それ以上に人文や思想の世界と
言ってもよいと思います。モノに囲まれ
た現代だからこそ、創るべきものは何
かを考えられる人材こそを必要とし

ています。

市川 当社でも土木・建築学科など

を卒業した人を採用しています。学
校での基礎教育が無いと、一級土木施
工管理技士や一級建築士の資格を取
得するのに時間がかかるからです。子
どもたちが減っているなかで、専門課
程を卒業する人たちはさらに少ない
ので、雇用すること自体、かなりハー
ドルが高くなります。

磯谷 電気工事の場合は、静岡県立

科学技術高校に電気工学科がありま
すが、電力会社などの大手やメーカ
へ就職する人がほとんどで、当社のよ
うな地域の電気工事業者に入ってく
れる人は1年間に2〜3人だと思いま
す。大手さんは、会社の施設や週休2
日制が整っていますが、地域の業者は、
その辺があやふやなところがある。

静岡県電業協会では2018年2
月に初めて、静岡県立科学技術高校で
出前講座を開催しました。私どもの
業界がどういうことに取り組んでいる
かを学校の先生、1年生、2年生に聞
いてもらう機会をつくっていただいて、
感触が良かったものから、これから
も続けていきたいと考えています。

当社では、普通高校の卒業生を採
用していますが、科学技術高校の電気
工学科の3年間で、第二種電気工事士
を取得した人に入ってもらいたいとい
う希望はあります。科学技術高校で